

# 県立高等技術専門校の現状と課題

資料 4-1

## 設置の根拠、目的

- 都道府県は、職業能力開発校を設置する。  
(職業能力開発促進法第16条)
- 地域のニーズに沿って職業訓練を行うことを目的に設置(同法第15条の7)

## 高等技術専門校の体制

- 定員780人、15種21訓練科を設置  
⇒関東では中位。人口規模が同程度の千葉県、神奈川県と同程度
- 高技専全体の入校率が75.3%で推移(離職者訓練充足率:全国第8位)  
⇒金属加工科など特定の訓練科で定員を満たせていないが、全体的な規模としては適当



関東の高技専設置状況(単位:人)

| 都県名 | 定員数(合計)   | 国      | 都 県       |
|-----|-----------|--------|-----------|
| 東京都 | 4,335【12】 | -      | 4,335【12】 |
| 神奈川 | 1,672【3】  | 572【1】 | 1,100【2】  |
| 千葉  | 1,293【8】  | 794【3】 | 572【5】    |
| 埼玉  | 1,256【8】  | 476【1】 | 780【7】    |
| 栃木  | 1,094【4】  | 554【1】 | 540【3】    |
| 群馬  | 881【4】    | 421【1】 | 460【3】    |
| 茨城  | 807【6】    | 372【1】 | 435【5】    |

※□内は設置校数

## 高等技術専門校における課題

- 1 高卒者の減少や大学進学率上昇による入校者の減少
  - ・県内の高校新卒者は5年前と比較して約4,500人減少
  - ・一方で、大学進学率が徐々に上昇(約7%増加)
- 2 入校率の低い訓練科
  - ・金属加工科の入校率は低い反面、就職率は高い
  - 入校率 R2~R6:45%
  - 就職率 R2~R5:89%
  - ⇒企業ニーズや応募状況を見極めていく必要がある
- 3 民間の訓練機関と競合する訓練科
  - ・建築、電気工事、空調などの訓練科の内容を見ると、「技能」まで習得させる機関は殆どない
  - ・自動車整備科や情報処理科などは一部競合がみられる
  - ⇒高技専のセーフティネットとしての役割から、失業された方や経済的困窮世帯の方が受けられる訓練科も一定程度は必要

金属加工科、機械科の入校率、就職率の推移



## 令和6年度の取組状況

- 1 在職者向け訓練におけるIT系訓練科の充実(R6)
  - ・在職者向け訓練のIT系講座の定員増 2,400人/全体4,500人(約53%)
  - ・AI、IoTについて教育用キットで学ぶ訓練、ドローンの基本操作や活用を学ぶ訓練 R5:520→R6:577人
- 2 委託訓練におけるIT系訓練科の充実(R6)
  - ・委託訓練のIT系講座の拡充【基礎・webデザイン・情報処理、デジタル人材育成科(長期)】R5:1,823→R6:1,984人
  - ・IT系訓練科において、(資格取得率・就職率に伴う)受託金額上乘せ対象となる資格を追加
- 3 企業人材リスキリング・求人支援ポータル開設(7月末予定)
  - ・各高等技術専門校で企業・求職者からの相談を受け、リスキリングを支援

